

<ハイデルベルク信仰問答を採用するに際して>

周東のぞみキリスト教会は、神の御言葉の無誤性を信じる「聖書信仰」グループに属します。聖書の無誤性を信じるとはいいますが、旧約39巻・新約27巻からなる聖書66巻です。あまりに膨大な書であり、しかも、多様な啓示の内容からなります。そう簡単に、聖書の言わんとする神の御心・神の御計画全体が把握できるものではありません。

富士の裾野に「青木ヶ原樹海」があります。案内なく、無暗に足を踏み入れると迷い、脱出できなくなり、白骨化した骨が散乱しているといえます。聖書全体が何をいわんとしているのか、樹を見て森を見ないことがあります。狭い理解で「救いとはなにか」を考えてきたかもしれません。しかし、全体的な視点から聖書を見直しますと、「救い」とは、もっとダイナミックなものです。

例えば、ローマ書8章28節以下を見ますと、神が「予知」し、「予定」し、「時いたりて召し」、「義とし」、「栄化」してくださるといわれている五つの一連のダイナミックな神の救いのご計画を知るとき、より「救い」が確かなものであることに気づきます。

聖書を丹念に読んでいても、いつしか、脇道や迷路に入り込み、そのことに気づかずにいることがあります。そうした時、正しくガイドの役目をしてくれる信仰基準があればと思われれます。そうしたお役目をしているのが「ハイデルベルク信仰問答」といえます。

正しい指針を得て、信仰と希望と愛とに励むものでありたいものです。

「何が神の御旨であるか、何が善であって、神に喜ばれ、かつ全きことであるかを、わきまえ知るべきである」(ロマ12:2)。

信仰問答集は他にもありますが、あえて、「ハイデルベルク信仰問答」を採用することを検討したのは、そこに理由がありました。

周東のぞみキリスト教会：牧師 結城 晋次